

八街市 平成 28 年 4 月 1 日よりロタウイルスワクチン接種費助成事業開始

印旛市郡医師会は、昨年 7 月 13 日に佐倉市長、成田市長、四街道市長、印西市長、八街市長、白井市長、富里市長、酒々井町長、栄町長にロタウイルスワクチン公費助成に関する要望書を提出し、八街市が平成 28 年 4 月 1 日よりロタウイルスワクチン接種費の一部助成事業を開始しました。ロタウイルスワクチン公費助成は、平成 28 年 5 月現在、全国 220 自治体、県内 9 自治体で実施されおり、印旛管内自治体では八街市が初めての実施になります。

ロタウイルスは感染力が強いため、適切な感染防止対策をとっていても、感染拡大を防ぐことは難しく毎年冬から春にかけて全国的に流行し、胃腸炎や脳炎・脳症で入院治療を要するケースが多いウイルスです。ロタウイルス感染症に対する特異的治療法はないため、ワクチン接種による発症予防が唯一そして最も効果的な感染防御対策であり、社会全体として、ロタウイルス感染症を制御していくためには公費助成が不可欠です。助成金額がわずかでも、自治体がかかわることにより保護者に広く周知することが可能となり、ワクチンの普及が期待されます。このように医学的、公衆衛生学的に大変重要なワクチンの助成事業実現にご尽力いただきました八街市長をはじめ、健康増進課など関係者の皆様に深く感謝と敬意を表しますとともに、今後のロタウイルスワクチン公費助成の実現に向けて、印旛管内各自治体のご理解とご協力を切にお願い申しあげる次第です。